

## 平成29年度事業報告

事業名	一般不妊治療費助成事業(人工授精のみ)					
目的	不妊に悩む夫婦に対し、保険適用外の人工授精に要する費用の一部を助成することにより、その経済的な負担の軽減と少子化対策の充実を図ることを目的とする。 (「高知県一般不妊治療助成事業費補助金」対象。補助額は一組当たり3万円を限度とする額の1/2)					
対象者	不妊症と医師に診断された人のうち、以下の要件を満たす人①法律上の婚姻関係にある夫婦 ②夫婦の両方またはいずれか一方が香南市に住所を有している人 ③夫婦が医療保険各法の被保険者、組合員または被扶養者 ④夫婦の前年の所得の合計額が730万円未満である人 ⑤市税などの滞納がない方 ⑥他の自治体において同一の助成を受けてない人					
事業概要	1. 実績(4月～12月)					
	【助成者】					
		件	申請月	助成金額	備考	
		1(30歳代)	9月	32,400		
		2(30歳代)	10月	50,000		
				47,620	妊娠届出	不明
		1(20歳代)	12月	50,000	妊娠届出	ホームページ
		計4件				
		【事業内容】 ○助成額:1年度につき5万円 ○回数制限:なし ○通算年数上限:連続する2年(申請年度とその翌年度)				
		【問合せ内容・件数】 問合せ件数:12件(内4件助成申請) 問合せ内容:助成内容・申請関係(11件) 不明(1件・母のため詳細分からず)				
	※右グラフの「その他」:知人から、助成している市もあるから問合せしてみてもと聞き、直接来所あり。					
	【利用者からの制度に対する意見】 ・(人工授精は考えてなかった夫が)助成金があるなら、ステップアップしやすいので、一つ前に進んでみようかという気持ちになった。 ・高額になってくるので、助成してもらえるのは嬉しい。					
	【その他】・特定不妊治療に対しての治療費助成事業は、県が実施している。 ・(人工授精は28年度に終了し、対象にならなかった方より)市の助成事業の対象が29年度からなので、対象にならなくて残念。との意見あり。 ・不妊治療に関する専門的な相談を、「ここから相談室(医療センター内)」が実施しており、希望者へは紹介している。					
	2. 評価・課題 一般不妊治療を実施して妊娠を望む方がスムーズに助成制度を利用できるよう、引き続き広報していくと共に、妊娠適齢時期や不妊症等に関する正しい知識の普及啓発を行っていく。					
	3. 30年度事業方針・計画 29年度は新規事業であり、見込みの申請人数が検討付かず、他市を参考に50件としていた。年度末にかけて、申請が増加する可能性はあるが、次年度は30件を見込み人数として予算化。					

